

			4月（月）	5月（月）	6月（月）	7月（月）	8月（月）	9月（月）	10月（月）	11月（月）	12月（月）	1月（月）	2月（月）	3月（月）	
介護福祉士・ケアサポーター 育成計画書 2026年度版			各期の 目標	職場環境に慣れる			指導のもと日動業務ができる			指導のもと変則勤務ができる					
				日動業務の流れを理解する			指導のもと日動業務ができる			指導のもとケアプラン・ICFの理解・記録ができる					
				基本的な介護知識・技術の習得			チームの一員としての役割を理解する			安全・安楽に 基準手順に沿った援助ができる					
				部署の特徴や介護職員の役割を知る			チームの一員としての役割を理解し行動できる			業務の優先順位を考え行動できる					
区分	項目	目標	4月（月）	5月（月）	6月（月）	7月（月）	8月（月）	9月（月）	10月（月）	11月（月）	12月（月）	1月（月）	2月（月）	3月（月）	
1年目必須	基礎技術	環境調整	・シーツ交換の目的がわかる ・シーツ交換の準備ができ、先輩と手順通りに行うことができる（介護手順書参照） ・ベッド周囲の拭き掃除を行い適切な位置にコールを設置できる	・ベッド不在時のシーツ交換がシワなく一人でできる ・ベッド臥床時のシーツ交換が先輩とできる ・ベッド柵、リモコン、コール、ストッパー、センサー、靴、車いす等と先輩と安全に清潔に整えることができる ・環境整備の目的が理解でき、快適な室内環境の要件がわかる ・シーツ交換の前後に必ず換気を行うことができる		・ベッド臥床時のシーツ交換を主体的に行うことができる ・主体的にベッド周囲を安全に清潔に整えることができる ・生活環境の調整ができる（室温・湿度・換気・遮光・臭気）の配慮ができる		・ケア後には生活環境を整えることができる 在宅での利用者の生活イメージを意識できる。 リネンの管理についてわかる		・日々の中で利用者の言動や表情、皮膚温度などの観察から、生活環境の調整に配慮ができる（室温・湿度・換気・遮光・臭気・音・etc） ・利用者が安心できる心地よい生活環境を意識できる ★環境整備研修受講（11月）	・利用者を取り巻く環境や思考・プライバシーを考慮し安全な心地よい環境の調整ができる ・在宅での利用者の生活イメージを意識できる。				
		食事援助	・助言を得て摂食動作の観察・誤嚥予防・適切な摂食動作の援助ができる	・先輩と共に配膳・下膳・配茶・お祭り・とろみ剤使用者を把握し正しく摂取量を記入することができる ・食事の準備ができる ・食事の目的と摂食嚥下のメカニズムを理解できる ・水分補給の必要性を理解できる ・水分補給の量を知っている ・食事時の観察ポイントがわかる ★食事の配膳（e-9） ★車椅子座位での食事介助（e-9）	・配膳・下膳・配茶・お祭り・とろみ剤使用者を把握し正しく摂取量を記入することができる ・配膳時、利用者に合わせたシーティングやセッティングの工夫ができる。下膳時は留意事項に気を付ける。 ・先輩と共に一部介助の利用者の食事介助ができる ・誤飲・誤嚥防止のための観察ができる。むせているときは看護師を呼び出さなければならない ・水分補給のポイントがわかる	・全介助の方の食事シーティングやセッティングができ、食事介助ができる ・視覚障害の方の食事介助ができる ・先輩と利用者の咀嚼・嚥下状態を観察しながら、食事介助ができる。 ・自ら実施した食事介助の状況を報告・記録することができる ・誤飲・誤嚥防止のための対応ができ、緊急時看護師と連携を図ることができる。 ★食事介助の基礎知識を学ぶ（e-87） ・脱水症状がわかり、利用者に合わせて水分補給ができる（夏季の注意） ・楽しい食事時間となるよう環境に配慮する。 ・経管栄養の目的と種類がわかる ・経管栄養のメカニズムがわかる ・経管栄養時の体位と観察がわかる		・誤飲・誤嚥防止のための対応ができる。 ・利用者の咀嚼・嚥下状態を観察しながら、食事介助ができる。緊急時、看護師と連携を図ることができる。 ・楽しい食事時間となるよう環境に配慮する。 ・看取り期の食事について理解し介護することができる ・脱水症状がわかり、利用者に合わせて水分補給ができる（冬季の注意） ・経管栄養の方を理解し安全安楽に留意したケアを行うことができる							
		排泄援助	・助言を得て排泄のメカニズムを理解し、個別ケアを行うことができる。自立支援に向けた排泄援助ができる	・排泄の意義や重要性が理解できる ・排泄介護の原則を理解し、自尊心、羞恥心、プライバシーに配慮した支援ができる ・オムツの種類や排泄チェックの重要性を理解しチェック表に正しく記入することができる。 ・尿量測定の方法がわかる	・トイレでの介助方法の留意点をしり、先輩と介助が安全にできる。（一人介助、二人介助、車いす） ・ベッド上のおむつ交換の目的と必要物品がわかり先輩と実施できる ・羞恥心やプライバシーに配慮した排泄援助ができ、皮膚・尿・便の観察、報告ができる。 ★排泄のメカニズムを学ぶ（e-8）	・トイレ介助が安全にできる（二人介助、一人介助、車いす、車いす）（e-35） ・ベッド上のおむつ交換が安全に心地よく実施できる ・羞恥心やプライバシーに配慮した排泄援助ができ、皮膚・尿・便の観察、報告ができる。 ★実技研修（おむつの当て方）	安全に清潔に心地よいトイレ介助・オムツ交換ができる ・尿器での排泄介護が先輩と共にできる ・尿失禁の種類がわかる ・観察を報告することができる ・留置カテーテルや人工肛門などを含め、ADLや安静を保持しながら先輩とともに排泄介護ができる	・排泄のメカニズムを考えながら利用者の自立支援に向けた援助ができる ・尿器での排泄介護が一人でできる ・留置カテーテルや人工肛門などを含め、ADLや安静を保持しながら主体的に介護することができる							
		活動・安楽確保・休息援助	・助言を得て障害を考慮した移乗・移動介助が安全にできる	・トランスファーについて理解する ・先輩と共に安全に移乗介助ができる。（介護手順書参照） ★安楽な体位変換ができる。ボディメカニクスについて理解し活用できる（e-24） ★車いすの構造について理解できる ・車いすによる移送の準備ができ、平地を移送できる（e-4） ・歩行の基礎知識を学ぶ（e-5）	・安静度・ADLを理解しベッド⇄車いすの移乗介助を先輩と共にできる。（一人介助、二人介助） ・日中の活動参加への声かけができる ・段差・坂道の車いす移送ができる ・自立で歩行できる人が転倒しないよう先輩と共に介助ができる ・ベッド上の体位変換の目的がわかり先輩と共に実施ができる（介護手順書） ★実技研修①搬送から起き上がり	・立位保持ができる利用者のベッド⇄車いすの移乗介助が安全にできる ・おむつ交換や褥瘡、安楽のための体位変換が先輩と共に実施ができる ・ストレッチャーの移送について理解でき先輩と実施できる（介護手順書） ・耐圧分散器具の目的・種類・使用方法がわかる ★実技研修②トランスファー	・一人介助、二人介助のベッド⇄車いすの移乗ができる ・日中の活動の重要性の理解と活動状況に応じた休息時間の提供ができる。 ・体動・移動に注意が必要な利用者への援助と安楽なポジショニングができる ・ストレッチャーの移送について主体的に先輩と実施できる ・ベッド上の体位変換が主体的にできる ・高齢者睡眠の特徴と不眠の背景を理解できる ・褥瘡の発生要因や好発部位、経過がわかる	・杖歩行・歩行時の付き添いが安全に配慮し援助できる ・視覚障害者の誘導方法の理解できる ・褥瘡のできやすい人や予防対策がわかり、意識して皮膚の観察を行いながら体位変換ができる ・安眠への援助ができ、睡眠状態をアセスメントして先輩に報告できる ・安全安楽に健康状態やADL、精神状態、自立支援に合わせた支援ができる ・野外に車いすですて移送ができる ★実技研修③歩行介助(							
		保清潔・衣生活援助	・助言を得て身体状況に応じた入浴介助ができる。自立支援に向けた生活支援ができる	・利用者の全体像を意識的に見ることができ、髪、服装や靴等を本人の許可のもとと整えることができる。 ・入浴後の服装を利用者と選び準備することができる ・入浴後の整容を先輩とできる	・入浴の目的と事故の危険性について理解できる ★基準・手順に沿った着脱介助、入浴介助を先輩と共にできる。（e-7）（e-88） ・入浴準備・片付けができる ・口腔ケアの目的がわかり先輩と実施できる ・義歯の必要性がわかり先輩と手入れができる ・陰部洗浄の目的と方法がわかり先輩と実施できる（介護マニュアル参照）	・基準・手順に沿った着脱介助、入浴介助が安全・安楽にできる。また麻痺のある利用者の着脱介助ができる ・入浴介助後の留意点（ひげ、耳、目、爪など） ・入浴後に整容ができる（ひげ、耳、目、爪など） ・口腔ケアができる ・義歯を取り外して清潔に保管できる ・陰部洗浄を利用者に合わせて主体的に実施できる（介護マニュアル参照）	・浴室の物品の配置位置や機械浴・リフト浴の操作方法や危険性について理解できる。 ・リフト浴・機械浴を先輩と共に実施できる ・臥床したままでの着脱介助ができる ・先輩と共に部分浴・清拭ができる	・リフト浴・機械浴を先輩と共に主体的に実施できる ・臥床したままでの着脱介助が主体的にできる ・口腔内を観察し適切な口腔清拭ができる（e-10）	利用者の状況に応じた入浴方法を選択することができる。 看取り期の利用者の口腔ケアを先輩と共にできる						
1年目プラス（TMGキャリアラダー）	ニーズをとらえる力	・助言を得てケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる	★利用者のバイタルサインと観察を実践し報告することができる。（e-18）（e-88-9） ・利用者の情報について守秘義務の遵守、個人情報保護の遵守を理解する ★老化を理解する（e-11）	・バイタルサイン、食事量、排泄などの記録ができる ★利用者の状態を観察して報告できる（e-12） ★認知症について学ぶ（e-13）	★基本情報用紙をもとに先輩と入所受け入れを行い、利用者の情報を取ることができる。また日常生活自立度について理解することができる ・利用者自身の変化に気づき、報告・記録ができる ★実践したケアを報告・記録することができる ・コミュニケーションやケア場面を通じ利用者の安全・安心について情報を取ることができる	・利用者の生活に関する基礎情報を本人や他者から得ることができる（入所） ・利用者自身の現状に対する想いについて情報をとることや言動から認知機能の情報をとることができる ★認知症介護の基礎（e-14）	・変化に応じた観察ができ報告ができる ★緊急性のある変化を発見し、報告、記録をすることができる	・利用者の生活に関する基本ニーズの情報を助言を得ながらICF整理図に展開することができる ・カンファレンス・担当者会に参加する。 ★ICF・介護過程の展開の理解とICFの視点からアセスメントについて学ぶ	・助言を得ながらICF整理図を基に個別支援計画を立案を実際に行うことができる ・入所時と比較して認知機能やADL状況の情報をとることができる ・ケアの評価をすることができる						
	ケアする力	・助言を得ながら安全な介護を実践する	・手帳を確認しながら先輩とケアを行い、基本的な介護技術を身に付ける。 ・スタンダードプリコーションを理解できる ・利用者の生活空間全般における環境整備を行うことができる。 ★「誤嚥防止」「報連相」の研修受講	・利用者の意向に配慮し、基本的な日常生活援助ができる ・ケアプラン・個別支援計画を確認し利用者の意向を聞き取り確認することができる ・実施したケアを記録記載基準に沿った記録ができる ★介護職に関わることのできる医行為について理解することができる ・マニュアルや基準に従い廃棄物を適切に破棄することができる	・ケアプラン・個別支援計画に沿った支援・ケアができる ・行ったケアの反応について記載基準に沿って記録できる ・利用者の状況変化の記録が正しくできる ★急変時、先輩と共に行動できる。（急変時対応の研修会参加） ・災害発生時における行動が理解でき、アクションカードに沿って行動できる	・利用者の状況変化の記録が正しく記載できる ・周囲で起きた事故事例から自身が気を付ける方法を考えることができる ★看取り、感染症・胃ろう・ハルンカテーテルなど医療依存度の高い利用者のケアを先輩と行うことができる ★状況に応じて一包化された服薬介助、爪切り等の整容が安全にできる（実施できる内容は施設基準に準ずる）	・暴言・暴力ハラスメントに気づき報告できる								
	協働する力	・関係者と情報共有できる	・チームの一員として日々のケア場面において自身の持つ情報を伝えることができる ・チームの一員として他の職員と協働して行うことができる ★介護の仕事内容について理解できる（e-17）	・日常の場において簡潔に不足のない報告・連絡・相談を行うことができる ・日々のケア場において自身の持つ情報を協働者に伝えることができる ★多職種チームの一員として他職種の役割や業務内容を理解できる	・カンファレンスに参加しケアに必要と思われる情報を伝えることができる。（OJT→カンファレンス） ・他職種の役割や業務内容を理解した発言ができる ・利用者を取り巻く関係者の希望を傾聴し、多職種に伝えることができる ・各職種とのお互いを尊重した働き方を理解しコミュニケーションが取れる	・カンファレンスに参加しケアに必要と思われる情報を伝えることができる。（OJT→カンファレンス） ・他職種の役割や業務内容を理解した発言ができる ・利用者を取り巻く関係者の希望を傾聴し、多職種に伝えることができる ・各職種とのお互いを尊重した働き方を理解しコミュニケーションが取れる	・居室担当の利用者の情報を日々ケアマネジャーやチーム、多職種と情報共有ができる ・担当者に必要な情報を経過記録などに記入することができる。 ・居室担当者として担当者会に参加し発言することができる。 ★今後利用者が生活するうえで必要なハビリティやサービスを社会資源もきめ考えることができる								
	意思決定を支える力	・ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	★利用者や家族から話を聴くことができる。 ★「聞く」と「聴く」の違いを意識し会話や対話ができる（e-21・22） ★人権・尊厳の保持、自立について、また介護の基本原則・介護職員の基本的姿勢について学ぶ（e-16）	★利用者や家族から話を聴くことができる。 ★「聞く」と「聴く」の違いを意識し会話や対話ができる（e-21・22） ★人権・尊厳の保持、自立について、また介護の基本原則・介護職員の基本的姿勢について学ぶ（e-16）	★利用者や家族から話を聴くことができる。 ★「聞く」と「聴く」の違いを意識し会話や対話ができる（e-21・22） ★人権・尊厳の保持、自立について、また介護の基本原則・介護職員の基本的姿勢について学ぶ（e-16）	★利用者や家族から話を聴くことができる。 ★「聞く」と「聴く」の違いを意識し会話や対話ができる（e-21・22） ★人権・尊厳の保持、自立について、また介護の基本原則・介護職員の基本的姿勢について学ぶ（e-16）	★利用者や家族から話を聴くことができる。 ★「聞く」と「聴く」の違いを意識し会話や対話ができる（e-21・22） ★人権・尊厳の保持、自立について、また介護の基本原則・介護職員の基本的姿勢について学ぶ（e-16）	★利用者や家族から話を聴くことができる。 ★「聞く」と「聴く」の違いを意識し会話や対話ができる（e-21・22） ★人権・尊厳の保持、自立について、また介護の基本原則・介護職員の基本的姿勢について学ぶ（e-16）	★意思決定支援の場面に参加し利用者の権利について気づくことができる（施設内研修3月） ★職人として自覚を持ち倫理に基づいて行動できる（e-76）						
	組織的遂行能力	創造し変革する力	・助言を得て部署目標達成のための自己目標を設定し、行動できる	・勤務・会議・研修等は準備を含め余裕を持って行動する ・物品・機器の種類がわかる ・物品・機器の定位置がわかる	・勤務・会議・研修等は準備を含め余裕を持って行動する ・物品・機器の種類がわかる ・物品・機器の定位置がわかる	・勤務・会議・研修等は準備を含め余裕を持って行動する ・物品・機器の種類がわかる ・物品・機器の定位置がわかる	・勤務・会議・研修等は準備を含め余裕を持って行動する ・物品・機器の種類がわかる ・物品・機器の定位置がわかる	・勤務・会議・研修等は準備を含め余裕を持って行動する ・物品・機器の種類がわかる ・物品・機器の定位置がわかる	・勤務・会議・研修等は準備を含め余裕を持って行動する ・物品・機器の種類がわかる ・物品・機器の定位置がわかる	・勤務・会議・研修等は準備を含め余裕を持って行動する ・物品・機器の種類がわかる ・物品・機器の定位置がわかる	・勤務・会議・研修等は準備を含め余裕を持って行動する ・物品・機器の種類がわかる ・物品・機器の定位置がわかる	・勤務・会議・研修等は準備を含め余裕を持って行動する ・物品・機器の種類がわかる ・物品・機器の定位置がわかる	・勤務・会議・研修等は準備を含め余裕を持って行動する ・物品・機器の種類がわかる ・物品・機器の定位置がわかる	・勤務・会議・研修等は準備を含め余裕を持って行動する ・物品・機器の種類がわかる ・物品・機器の定位置がわかる	・勤務・会議・研修等は準備を含め余裕を持って行動する ・物品・機器の種類がわかる ・物品・機器の定位置がわかる
	共に育つ力	・チームメンバーとしての役割を理解し行動できる	・社会人としての自覚を持ち行動できる	・職場の規則やルールを守ることができる ・身だしなみに気を付け、健康管理ができる ・与えられた役割を理解し行動できる	・職場の規則やルールを守ることができる ・身だしなみに気を付け、健康管理ができる ・与えられた役割を理解し行動できる	・職場の規則やルールを守ることができる ・身だしなみに気を付け、健康管理ができる ・与えられた役割を理解し行動できる	・職場の規則やルールを守ることができる ・身だしなみに気を付け、健康管理ができる ・与えられた役割を理解し行動できる	・職場の規則やルールを守ることができる ・身だしなみに気を付け、健康管理ができる ・与えられた役割を理解し行動できる	・職場の規則やルールを守ることができる ・身だしなみに気を付け、健康管理ができる ・与えられた役割を理解し行動できる	・職場の規則やルールを守ることができる ・身だしなみに気を付け、健康管理ができる ・与えられた役割を理解し行動できる	・職場の規則やルールを守ることができる ・身だしなみに気を付け、健康管理ができる ・与えられた役割を理解し行動できる	・職場の規則やルールを守ることができる ・身だしなみに気を付け、健康管理ができる ・与えられた役割を理解し行動できる	・職場の規則やルールを守ることができる ・身だしなみに気を付け、健康管理ができる ・与えられた役割を理解し行動できる	・職場の規則やルールを守ることができる ・身だしなみに気を付け、健康管理ができる ・与えられた役割を理解し行動できる	
	学び続ける力	・助言を得て自己の課題を認識し、自主的に学習できる	・ラーダーの目的を理解する（新人中と研修4月）	・自ら目指すラーダーの目標と課題を理解する	・日々の実践を振り返り根拠を明確にするため研修に参加をする ・目的意識を持ち研修に参加し、OJT（現場での実践）に活かすことができる（報告書が記入できる） ・自ら目指すラーダーの目標と課題を明確にする	・日々の実践を振り返り根拠を明確にするため研修に参加をする ・目的意識を持ち研修に参加し、OJT（現場での実践）に活かすことができる（報告書が記入できる） ・自ら目指すラーダーの目標と課題を明確にする	・日々の実践を振り返り根拠を明確にするため研修に参加をする ・目的意識を持ち研修に参加し、OJT（現場での実践）に活かすことができる（報告書が記入できる） ・自ら目指すラーダーの目標と課題を明確にする	・日々の実践を振り返り根拠を明確にするため研修に参加をする ・目的意識を持ち研修に参加し、OJT（現場での実践）に活かすことができる（報告書が記入できる） ・自ら目指すラーダーの目標と課題を明確にする	・日々の実践を振り返り根拠を明確にするため研修に参加をする ・目的意識を持ち研修に参加し、OJT（現場での実践）に活かすことができる（報告書が記入できる） ・自ら目指すラーダーの目標と課題を明確にする	・日々の実践を振り返り根拠を明確にするため研修に参加をする ・目的意識を持ち研修に参加し、OJT（現場での実践）に活かすことができる（報告書が記入できる） ・自ら目指すラーダーの目標と課題を明確にする	・日々の実践を振り返り根拠を明確にするため研修に参加をする ・目的意識を持ち研修に参加し、OJT（現場での実践）に活かすことができる（報告書が記入できる） ・自ら目指すラーダーの目標と課題を明確にする	・日々の実践を振り返り根拠を明確にするため研修に参加をする ・目的意識を持ち研修に参加し、OJT（現場での実践）に活かすことができる（報告書が記入できる） ・自ら目指すラーダーの目標と課題を明確にする	・日々の実践を振り返り根拠を明確にするため研修に参加をする ・目的意識を持ち研修に参加し、OJT（現場での実践）に活かすことができる（報告書が記入できる） ・自ら目指すラーダーの目標と課題を明確にする	・日々の実践を振り返り根拠を明確にするため研修に参加をする ・目的意識を持ち研修に参加し、OJT（現場での実践）に活かすことができる（報告書が記入できる） ・自ら目指すラーダーの目標と課題を明確にする	
1年目必須	安全	助言を得て感染予防マニュアルを理解し行動ができる	・スタンダードプリコーションの理解と実施。手洗い・手指消毒が確実に行える。ティッシュペーパー・エプロンが適切に着脱できる（新人中途研修4月）	・主な感染症を知り、感染源・感染経路・感染伝播を知る。先輩と環境整備を具体的にすることができる（e-60）（施設内研修6月）	・接触・飛沫・空気感染対策の違いを理解し行動できる スタンダードプリコーションの実施できる	・接触・飛沫・空気感染対策の違いを理解し行動できる スタンダードプリコーションの実施できる	・接触・飛沫・空気感染対策の違いを理解し行動できる スタンダードプリコーションの実施できる	・接触・飛沫・空気感染対策の違いを理解し行動できる スタンダードプリコーションの実施できる	・接触・飛沫・空気感染対策の違いを理解し行動できる スタンダードプリコーションの実施できる	・接触・飛沫・空気感染対策の違いを理解し行動できる スタンダードプリコーションの実施できる	・接触・飛沫・空気感染対策の違いを理解し行動できる スタンダードプリコーションの実施できる	・接触・飛沫・空気感染対策の違いを理解し行動できる スタンダードプリコーションの実施できる	・接触・飛沫・空気感染対策の違いを理解し行動できる スタンダードプリコーションの実施できる	・接触・飛沫・空気感染対策の違いを理解し行動できる スタンダードプリコーションの実施できる	
		助言を得て安全管理マニュアルを理解し行動ができる	・利用者誤認の危険性を理解できる（e-20）	・虐待防止・身体拘束禁止マニュアルの理解	・虐待防止・身体拘束禁止マニュアルを理解し行動できる	・虐待防止・身体拘束禁止マニュアルを理解し行動できる	・虐待防止・身体拘束禁止マニュアルを理解し行動できる	・虐待防止・身体拘束禁止マニュアルを理解し行動できる	・虐待防止・身体拘束禁止マニュアルを理解し行動できる	・虐待防止・身体拘束禁止マニュアルを理解し行動できる	・虐待防止・身体拘束禁止マニュアルを理解し行動できる	・虐待防止・身体拘束禁止マニュアルを理解し行動できる	・虐待防止・身体拘束禁止マニュアルを理解し行動できる	・虐待防止・身体拘束禁止マニュアルを理解し行動できる	・虐待防止・身体拘束禁止マニュアルを理解し行動できる
		助言を得て災害対策マニュアルを理解し行動できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる	・消防器・消火栓・避難経路がわかる ・緊急時の連絡体制について理解できる